

1 アンケート調査の概要

里地里山の保全・再生のモデルとなる特徴的な取組の事例を幅広く収集し、その取組手法等の全国への波及を図ることを目的として、平成21年1月中旬から約1ヶ月間、全国の都道府県、市町村、専門家及び関係省庁を対象にアンケート調査を実施し、約600件の事例を収集しました。

(1) 調査対象

①全国の都道府県、市町村

*47都道府県（自然環境、農村整備、森林、都市緑地、文化財の各部局）

（依頼先数： $47 \times 5 = 235$ 件）

*1,782市町村

②専門家

*検討会議委員 計10名

*里地里山の自然環境保全、文化、景観、希少種保護等の専門家 計83名

（合計93名）

③関係省庁

*環境省、農林水産省、林野庁、国土交通省、文化庁

（各省庁所管団体等にも省庁を通じて調査票を配布・回収）

・ 対象とする「里地里山」について

里地里山とは、都市域と原生的な自然との間に位置し、様々な人間の働きかけを通じて集落を取り巻くように二次的な自然環境が形成されてきた地域です。里地里山は下記のような様々なタイプの環境から構成されますが、本調査では原則として、これらの二つ以上が含まれている地域を対象としました。

① 二次林

② 草原

③ 農地

④ 水路、ため池

⑤ 人工林

⑥ 社寺林

*二次林とは、過去に伐採や間伐など人の手が入ったことのある森林をいいます。

なお、人工林は伐採後に植林が行われた林で、二次林には含めません。

(2) 調査方法

実施期間：平成 21 年 1 月 16 日（金）～2 月 16 日（月）

ただし、終盤に再度回答協力依頼を行い、締め切り以後の提出分も受け付けました。

配布・回収方法：調査票は郵送及びホームページで配布し、直接、郵送または E メールで返信してもらう方法としました。

都道府県については、自然環境部局に一括して調査票を郵送し、各部局への配布を依頼しました。

市町村については、総務企画、農林、観光又は環境等の担当課あて調査票を郵送し回答を依頼しました。

実施に当たって、里地里山保全再生の意義や調査の趣旨について理解していただくために、「里地里山を未来へ～里地里山保全・再生に向けた特徴的な取組事例アンケート調査～」と題するリーフレットを作成し、アンケートに同封しました。

(3) 回答状況

依頼先別の回答の状況は、表のとおりです。

回答者種別	依頼先数	回答数	うち「該当あり」 回答数	回答事例数	整理・統合後 事例数(*)
都道府県(47×5部署)	235	90	57	114	99
市町村	1782	488	308	460	428
専門家	93	20	19	32	29
関係省庁	5	5	5	48	43
合計	2115	603	389	654	599
回収率(%)		28.5%	(18.4%)		

(*) 事例の整理・統合

同じ場所での取組事例でも回答者が異なる場合、「回答事例数」はそれぞれ 1 件とカウントしています。また隣接する場所で異なる活動主体が類似の取組を行っているケースもありました。このため、場所単位で取組事例の整理を行うこととし、95 件の回答を 40 組の事例としてとりまとめました。この結果、最終的な事例件数は 599 となりました。